

(別紙4(2))

事業所名 グループホームおだやか高槻松ヶ丘

目標達成計画

作成日: 平成 22 年 4 月 27 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	21年度は3ヶ月に1度運営推進会議を開催していた。出席するメンバーも固定化してマンネリ化している。報告のみで終始してしまい話し合いや意見交換の場になりにくい。	2ヶ月に1度、年6回の開催とする。会のメンバーも地域包括センター職員、民生委員、町内会代表、家族の他に消防署の職員、近隣に住んでいる方々にも声をかけて見る。	近隣の方が立ち寄りやすいホーム作りをする。バザーや音楽会、夏祭り等の年間行事の開催により1人でも多くの方々にホームに足を運んでもらう様にしていく。毎朝の散歩時近所のかたがたと顔見知りになり親しい関係作りをしていく。特別に会議の席でなくてもお話ができ意見を交わす事ができる関係作りを心掛けている。	12ヶ月
2	35	災害対策について地域の訓練に参加したりホームで訓練をしているが、年に2回では十分な対応はできない。夜間は職員が少なく安全な対応をどうすべきか考えている。	災害時安全な対応が取れるようにする。	スプリンクラーや通報器の設置をする。夜間を想定した避難訓練や消防訓練を自主的に頻繁に行う。職員の意識を高め災害時の対応がスムーズにおこなえるようにする。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月